



第13-53号

2014年2月27日

2月28日、世田谷区内最大規模の太陽光発電事業スタート 「小田急電鉄喜多見発電所」を稼働します！ 再生可能エネルギーを利用して環境負荷低減に貢献します

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）は、喜多見電車基地と周辺施設（東京都世田谷区喜多見）での太陽電池パネル等設備の設置を完了し、2014年2月28日（金）、「小田急電鉄喜多見発電所」として太陽光発電事業を開始いたします。

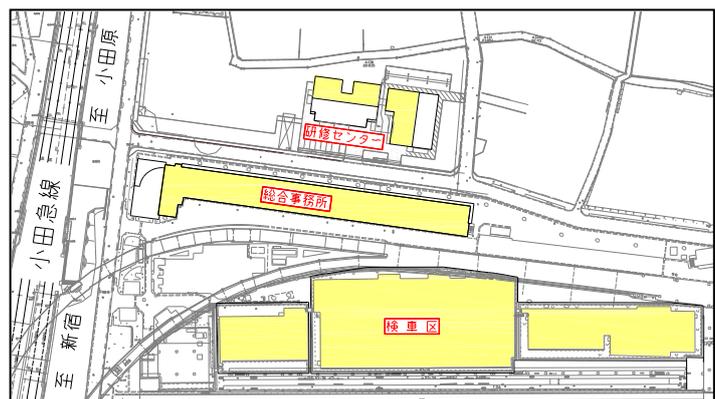
この施設は、電車基地をはじめとする周辺施設の屋上や屋根部分の未使用スペースを活用したもので世田谷区内では最大規模の太陽光発電所となります。発電能力590.2kW（年間発電量 約579,000kWh）、発電した電力は全て東京電力に販売いたします。

当社では、国内の環境、資源・エネルギー情勢を踏まえ、再生可能エネルギーである太陽光を利用した発電事業に取り組むことによって今後の電力需要に対応するとともに、CO₂排出を抑制して環境負荷低減にも貢献していきます。

「小田急電鉄喜多見発電所」の概要は次のとおりです。

記

1. 事業場所 東京都世田谷区喜多見9丁目
2. 事業面積 約8,400㎡
3. 主要設備
 - (1) 太陽電池モジュール
使用枚数：2,588枚
(250W型 2,156枚、209W型 432枚)
 - (2) 電力変換装置(パワーコンディショナー)
出力：合計600kW(500kW×1台、100kW×1台)
4. 発電能力
 - (1) 総発電容量：629kW(連系時最大容量は590.2kW)
 - (2) 年間発電量：約579,000kWh
※一般家庭における年間消費電力量の約160軒分に相当
 - (3) 年間売電額：約23,000千円



以上